

保護者のみなさま

藤井寺市立藤井寺北小学校  
校長 宇野 貴子

## 令和5年度学校教育自己診断(よりよい学校づくりアンケート)集計結果について

早春の候、保護者のみなさまには益々ご健勝のことと存じます。平素は、本校学校教育に対しご支援ご協力を賜りありがとうございます。

さて、本校の教育目標は「学びあい、つながりあい、高まる喜びを感じながら、たくましく健やかに生きる人間の育成」、学校経営方針は「居心地のよい学校づくりをめざして」です。これらのことを念頭に今年度も、さまざまな教育活動に取り組んできました。本校学校教育について、この1～2月に3～6年生児童および全児童保護者のみなさま、地域のみなさまに学校教育自己診断アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。その集計結果についてお知らせします。

## 〈生活面〉肯定的意見抜粋

児童 (％)

アンケート項目	令和5年度	令和4年度
学校へ行くのが楽しい。	88	81
いじめや仲間はずれのない学級だ。	77	75
命の大切さや、自分を大切にすること、人にやさしくすることを学ぶことが多い。	90	88
学校の決まりを守っている。	88	81
自分から進んで宿題をしている。	81	78
「早寝・早起き・朝ごはん」ができている。	79	69
テレビやゲームの時間、スマートフォンの使い方について家でルールを決めている。	69	70

保護者 (％)

アンケート項目	令和5年度	令和4年度
子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	86	85
学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	74	66
先生は子どものまちがった行動を指導している。	86	84
テレビやゲームの時間、スマートフォンの使い方について家庭でルールを決めている。	80	80

学校へ行くのが楽しいと感じている児童、保護者ともに増加し、児童と保護者の数値が近づきました。ただし、いじめや仲間はずれのない学級については昨年度より多少増加していますが、決して望ましい数値とは言えません。今後も、いじめに関するアンケートを活用した状況把握はもちろんのこと、自己肯定感を高める取り組みや、すべての教育活動を通して一人ひとりを大切にすることを心がけ、子どもたちが安心して過ごせる学級、学校をめざしていきます。

家での過ごし方として、「自分から進んで宿題をする」ことや「早寝・早起き・朝ごはん」ができている子が増加しているのは本人の意識だけでなく、ご家庭でのご協力あってこそです。ありがとうございます。

「テレビやゲームの時間、スマートフォンの使い方について家庭でルールを決めている。」は昨年同様、子どもと保護者の意識に10%程度のずれがあります。生活リズムやメディアリテラシーなどの取り組みを児童向けだけでなく保護者向けにも進めて参りますのでご家庭でも定期的にルールを確認していただき、メディアリテラシーに関する講演会に参加していただくなどご協力をお願いします。

## 〈学習面〉肯定的意見抜粋

児童		(%)	
アンケート項目	令和5年度	令和4年度	
授業はわかりやすく楽しい。	86	79	
授業でわからないことについて、先生にたずねやすい。	81	78	
運動会、校外学習、林間学舎、修学旅行などの行事は楽しい。	97	96	
学校の図書室の本をよく読んでいる。	58	71	
学校で食事についてよく学んでいる。	65	60	

保護者		(%)	
アンケート項目	令和5年度	令和4年度	
学校は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	84	86	
運動会、校外学習、林間学舎、修学旅行などの行事は積極的に参加できるように工夫されている。	91	89	
子どもは学校で食事についてわかりやすく教えてもらっている。	69	69	

「授業はわかりやすく楽しい。」「授業でわからないことについて、先生にたずねやすい。」項目はともに増加しています。今後も教員の授業力向上をめざすとともに様々な場面で子どもたちと関わり、たずねやすい雰囲気づくりを心がけます。

食育についても昨年より意識が高くなっており、このことが「早寝・早起き・朝ごはん」につながってきていると考えられます。さらなる上昇をめざし取り組んでいきます。

「学校の図書室の本をよく読んでいる。」項目は13パーセント減となりました。読書離れが叫ばれている中、本校でもその傾向が表れています。読書は教育活動の根本となりますので、読書をすることが楽しいと思えるような取り組みを行っていきます。

## 〈学校・児童・地域の関係〉肯定的意見抜粋

(%)

アンケート項目		令和5年度	令和4年度
児童	先生にはいろいろなことが相談できる。	79	77
	自分から進んであいさつをしようと心がけている。	84	75
保護者	先生は子どものことについての相談に適切に応じている。	85	85
	先生は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	81	78
地域	地域と学校の交流行事は必要だと思う。	100	
	子どもたちが安全に登下校するには、見守り隊など、地域住民の協力が必要であると思う。	100	

子ども・保護者ともに先生が相談相手になっていることが分かります。今後も気になることなどあれば学校にご相談ください。

自分から進んであいさつをしようと心がけている児童が増えました。あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションの第一歩です。このように増加したのは地域と保護者のみなさまによる見守り活動が大きいと感じております。感謝申し上げます。

地域の方と子どもたちが関わる行事は昨年度より増えてまいりました。来年度は今年度の反省を生かした取り組みを行っていく予定です。今後も子どもたちの健やかな成長のために学校・家庭・地域が関わりあい、ともに協力していきましょう。よろしくお願いいたします。

## 〈最後に〉

「子ども・教師・家庭・地域にとって居心地のよい学校づくりをめざして」このアンケート結果を活かして参ります。今後とも藤井寺北小学校の教育の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。